



# IT Automation

## エクスポート/インポート

### 【実習編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

第1.0版

Exastro developer

# 目次

## 1. はじめに

1. [本書について](#)
2. [作業環境](#)

## 2. 実習① メニューエクスポート

1. [作業手順](#)
2. [データ登録](#)
3. [メニューの作成・入力](#)
4. [エクスポート](#)
5. [インポート](#)

## 3. 実習② Symphony/オペレーションエクスポート

1. [作業手順](#)
2. [データの登録](#)
3. [エクスポート](#)
4. [インポート](#)

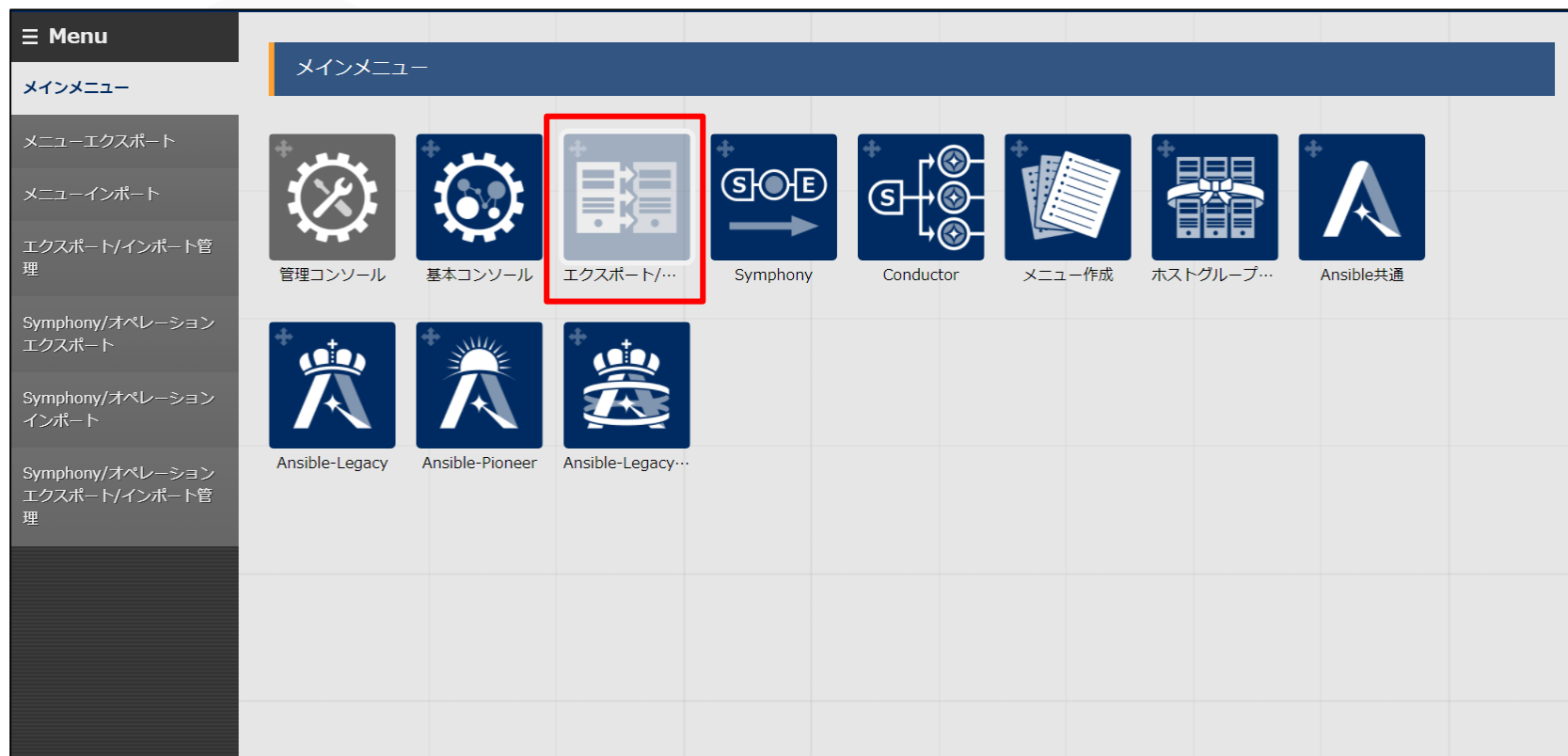
# 1. はじめに

# 1.1 本書について

## ■ 本書について

本書ではメニューグループの「エクスポート/インポート」について、実践形式で学習いただけます。

[実習①](#)ではメニューエクスポートの、  
[実習②](#)ではSymphony/オペレーションエクスポートの作業を行います。



## 1.2 作業環境

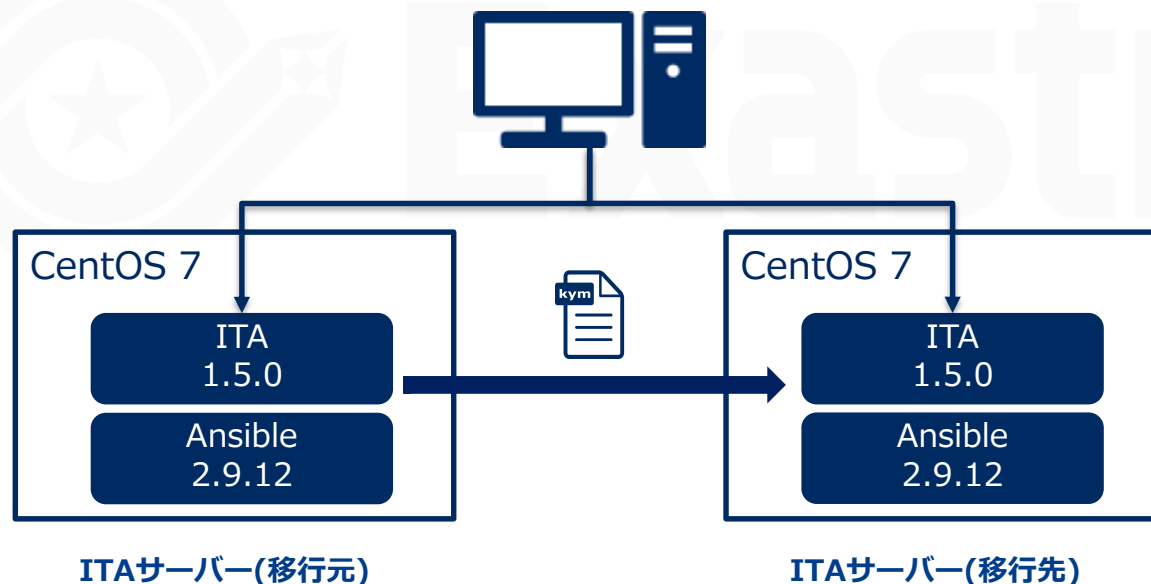
### 作業環境

本書で使用する作業環境は以下の通りです。

ITAサーバーを**移行元**と**移行先**の計2台ご用意ください。

#### ITAサーバー 2台

- CentOS 7 (※1)
- ITA 1.5.0
- Ansible 2.9.12



※1 今回はホストサーバーとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。

## 2. 実習① メニューエクスポート

## 2.1 作業手順

### 作業手順

本シナリオは以下の流れで進行します。

1. 機器情報

2. オペレーション

① データ登録

3. メニューグループ作成

4. メニュー作成

5. 作成したメニューの入力

② メニューの作成・入力

6. エクスポートを実行する

7. kymファイルをダウンロードする

③ エクスポート

8. インポートを実行する

9. インポート結果を確認する

④ インポート

# 2.2 データ登録 (1/2)

## 機器の登録

メニュー：基本コンソール > 機器一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

データの登録

機器情報

オペレーション

メニューの作成・入力

エクスポート

インポート

登録

管理システム項番	HW機器種別	ホスト名*	IPアドレス*	EtherWakeOnLan		ログインユーザID	ログインパスワード	
				MACアドレス	ネットワークデバイス名		管理	ログインパスワード
自動入力								

※\*は必須項目です。

戻る 登録

項目	入力内容
HW機器種別	SV
ホスト名	(任意の値をご設定下さい)
IPアドレス	対象機器のIPアドレス
ログインユーザID	(任意の値をご設定下さい)
管理	●
ログインパスワード	(任意の値をご設定下さい)
認証方式	ssh



## 2.2 データ登録 (2/2)

### ■ オペレーションを新規登録する

メニュー：基本コンソール > 投入オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。

データの登録

機器情報

オペレーション

メニューの作成・入力

エクスポート

インポート

登録

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考
自動入力	自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※\*は必須項目です。

戻る

登録

2

オペレーション名	実施予定日時
OP1	(任意でご入力下さい)

## 2.3 メニューの作成・入力(1/4)

### ■ メニューグループの作成

メニュー: 管理コンソール > メニューグループ管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下記のように入力し、登録する。

登録

メニューグループID	メニューグループ名称	表示順序	パネル用画像
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<div>参照...</div> <div>事前アップロード</div> <div>アップロード状況:</div>

<

※\*は必須項目です。

戻る

登録

メニューグループ名称	表示順序
サーバ基本設定	125
サーバ基本設定(参照用)	130

データの登録

メニューの作成・入力

メニューグループ

メニュー

作成したメニュー

エクスポート

インポート

## 2.3 メニューの作成・入力(2/4)

### パラメータシートを作成する

メニュー: **メニュー作成** > **メニュー定義/作成**

- ① [メニュー作成情報]へ下表のように入力する。
- ② [対象メニューグループ]を押下し、  
対象メニューグループを選択する。(次項へ)

**データの登録**

メニューの作成・入力

メニューグループ

**メニュー**

作成したメニュー

**エクスポート**

**インポート**

メニュー作成情報

基本情報

項番: 自動入力

メニュー名\*: ディレクトリ設定

作成対象\*: パラメータシート(ホスト/オペレーシ

表示順序\*: 1

用途\*: ホスト用

最終更新日時: 自動入力

最終更新者: 自動入力

対象メニューグループ

ホスト\*: サーバ基本設定

参照\*: サーバ基本設定(参照用)

縦メニュー:

**対象メニューグループ**

項目名	入力内容
メニュー名	ディレクトリ設定
作成対象	パラメータシート(ホスト/オペレーション)
表示順序	1
用途	ホスト用

メニューグループ選択

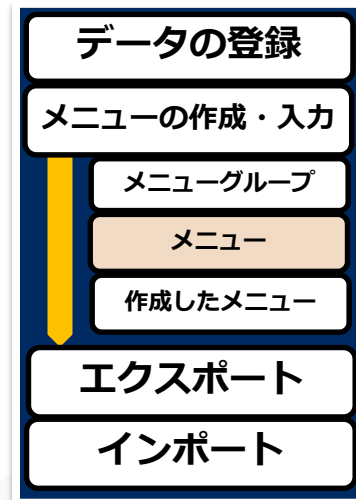
Host	Reference	Vertical	ID	Menu group name
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	-	Unselected
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1	サーバ基本設定
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	2	サーバ基本設定(参照用)

## 2.3 メニューの作成・入力(3/4)

### パラメータシートの項目名を定義する

メニュー: **メニュー作成** > **メニュー定義/作成**

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ② 各項目について、下表のように入力する。
- ③ 画面下部の[作成]を押下する。



項目 1

path owner group mode

文字列(単一行) 文字列(単一行) 文字列(単一行) 文字列(単一行)

最大バイト数\* 32 最大バイト数\* 32 最大バイト数\* 32 最大バイト数\* 32

正規表現

☐ 必須 ☐ 一意制約

説明

プレビュー ログ

一覧(プレビュー)

No	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	最終実行日
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	

作成 3

項目名	入力方式	最大バイト数
path	文字列(単一行)	32
owner	文字列(単一行)	32
group	文字列(単一行)	32
mode	文字列(単一行)	32

## 2.3 メニューの作成・入力(4/4)

### パラメータシートにデータを登録する

メニュー: サーバ基本設定 > ディレクトリ設定

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。
- ③ ②で作成したデータについて、下表の内容に更新する。

データの登録

メニューの作成・入力

メニューグループ

メニュー

作成したメニュー

エクスポート

インポート

No	ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
自動入力						

※\*は必須項目です。

2

ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work1	root	root	0644



3

ホスト名	オペレーション	path	owner	group	mode
任意	OP1	/tmp/work2	root	root	0644

## 2.4 エクスポート(1/2)

### エクスポートを実行する

登録した情報を選択し、エクスポートを実行しましょう。

メニュー: エクスポート/インポート > メニューエクスポート

The screenshot shows the 'Menu Export' interface in Exastro. It features a sidebar on the left with a '説明' (Description) section and a main content area. The sidebar has a 'エクスポート' (Export) button. The main content area has a '説明' (Description) section and a 'エクスポート' (Export) button. A red box highlights the 'すべてのメニュー' (All Menus) checkbox, and a callout bubble with the number '1' points to it, containing the text '「すべてのメニュー」にチェックを入れる。' (Check 'All Menus'). Another red box highlights the 'エクスポート' (Export) button, and a callout bubble with the number '2' points to it, containing the text '[エクスポート]を押下する。' (Click [Export]).

説明

エクスポート

☒ すべてのメニュー

☒ サーバ基本設定

☒ ディレクトリ設定

1 「すべてのメニュー」にチェックを入れる。

☒ サーバ基本設定(参照用)

☒ ディレクトリ設定

☒ 管理コンソール

☒ システム設定

☒ ロール管理

☒ オペレーション削除管理

☒ SSO基本情報管理

☒ IPアドレスフィルタ管理

☒ ユーザ管理

☒ ファイル削除管理

☒ SSO属性情報管理

☒ メニューグループ管理

☒ ロール・メニュー紐付管理

☒ ADグループ判定

☒ メニュー管理

☒ ロール・ユーザ紐付管理

☒ ADユーザ判定

☒ 基本コンソール

☒ 機器一覧

☒ 投入オペレーション一覧

☒ 紐付対象メニュー

☒ 紐付対象メニューテーブル管理

☒ 紐付対象メニューカラム管理

☒ Symphony

☒ Symphony紐付Movement一覧

エクスポート

2 [エクスポート]を押下する。

管理者に連絡

データの登録

メニューの作成・入力

エクスポート

エクスポートの実行

kymファイルの  
ダウンロード

インポート

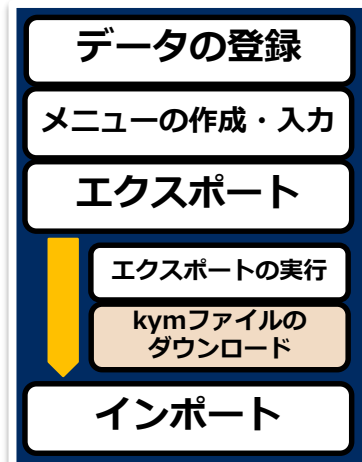
## 2.4 エクスポート(2/2)

### kymファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート** > **エクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、kymファイルをダウンロードする。



一覧 <span>△閉じる</span>						
実行No.	ステータス	処理種別	インポート種別	ファイル名	最終更新日時	最終更新者
1	完了	エクスポート		<a href="#">ita_exportdata_20201029003922.kym</a>	2020/10/29 00:39:22	データポータビリティプロジェクト

フィルタ結果件数: 1

2

## 2.5 インポート(1/3)

### ■ インポートを実行する

ここからは移行先サーバでの操作となります。

kymファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー: エクスポート/インポート > メニューインポート



アップロード

ファイルを選択 ita\_exportd...50332.kym

アップロード

1 kymファイルをアップロードする。

インポート

☒ すべてのメニュー

☒ サーバ基本設定

☒ ディレクトリ設定

☒ サーバ基本設定(参照用)

☒ ディレクトリ設定

☒ 管理コンソール

☒ システム設定

☒ ロール管理

☒ オペレーション削除管理

☒ SSO基本情報管理

☒ IPアドレスフィルタ管理

☒ ユーザ管理

☒ ファイル削除管理

☒ SSO属性情報管理

☒ メニューグループ管理

☒ ロール・メニュー紐付管理

☒ ADグループ判定

☒ メニュー管理

☒ ロール・ユーザ紐付管理

☒ ADユーザ判定

2 「すべてのメニュー」にチェックを入れる。

インポート

インポート(廃止を除く)

3 [インポート]を押下する。

Tips

廃止されたデータを除外してインポートすることもできます。



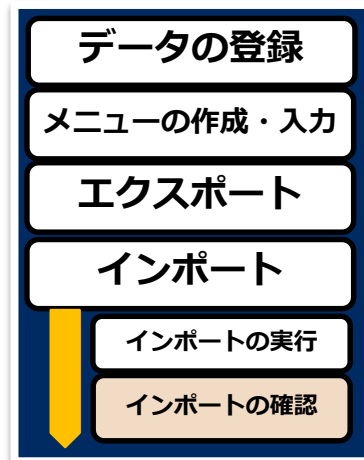
## 2.5 インポート(2/3)

### ■ インポートのステータスを確認する

実行したインポートの情報を確認し、  
ステータスが「完了」となっていることを確かめましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート** > **エクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する。
- ② 実行したインポートのステータスが「完了」であることを確認する。



一覧

実行No. ⌵	ステータス ⌵	処理種別 ⌵	インポート種別 ⌵	ファイル名	最終更新日時 ⌵	最終更新者 ⌵
2	完了	インポート	通常	<a href="#">2_ita_exportdata_20201105153616.kym</a>	2020/11/05 15:37:16	データポータビリティプロシージャ

フィルタ結果件数: 1

## 2.5 インポート(3/3)

### インポート結果を確認する

移行されたメニューを確認しましょう。各レコードの変更履歴も移行されています。合わせて確認してみましょう。

メニュー: **サーバ基本設定 > ディレクトリ設定**

- ① [フィルタ]を押下する。
- ② 「**データポータビリティプロシージャ**」によってメニュー情報が移行されていることを確認する。

データの登録

メニューの作成・入力

エクスポート

インポート

インポートの実行

インポートの確認

一覧/更新

△閉じる

更新	廃止	No	ホスト名	オペレーション					パラメータ				備考	最終更新日時	最終更新者
				ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	path	owner	group	mode			
更新	廃止	1	test	1	OP1	2020/10/30 12:00	2020/10/30 12:00		/tmp/work1	root	root	0644		2020/10/29 00:38:01	データポータビリティプロシージャ

フィルタ結果件数: 1

- ③ [変更履歴]を押下し、登録したレコードのナンバーを入力する。
- ④ [表示]を押下し、**変更履歴**の情報が移行されていることを確認する。

変更履歴												△閉じる
No												
1												
表示		リセット										
履歴通番	変更日時	廃止	No	ホスト名	オペレーション			最終更新日時	最終更新者			
					ID	オペレーション名	基準日時					
2	2020/10/29 15:24:17		1	test	1	OP1	2020/10/30 12:00	2020/10/29 15:24:17	データポータビリティプロシージャ			
1	2020/10/29 00:38:01		1	test	1	OP1	2020/10/30 12:00	2020/10/29 00:38:01	データポータビリティプロシージャ			

### 3. 実習② Symphony/オペレーションエクスポート

## playbookの作成

移行対象となるplaybookのサンプルをご用意しました。  
下記のplaybookをyamlファイルとして保存してください。

【注意】 文字コードは“UTF-8”、改行コードは“LF”、拡張子は“yaml”で作成してください。

```
- name: Copy Test File to Locale
  copy:
    src: "{{ CPF_test_text }}"
    dest: "{{ VAR_directory }}"
    owner: root
    group: root
    mode: 0644
```

**ファイル名:** copy\_file.yaml

「ファイル管理」で登録したファイルを  
指定のディレクトリにコピーします。

## 3.1 作業手順

### 作業手順

本シナリオは以下の流れで進行します。

1. 機器情報

2. オペレーション

3. Movement

4. プレイブック

5. 素材ファイル

6. Movement詳細

7. 作業対象ホスト

8. 代入値管理

9. Symphony

#### ① 移行するデータの登録

主にAnsible-Legacyの操作を行います。  
移行元サーバで作業を進めてください。  
※既に一連のデータが登録されている場合、スキップ可能です。

10. エクスポートを実行する

11. kymファイルをダウンロードする

#### ② エクスポート

12. インポートを実行する

13. インポート結果を確認する

#### ③ インポート

## 3.2 データ登録 (1/9)

### 機器の登録

メニュー：基本コンソール > 機器一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。  
※実習①で登録を行った場合、本作業は不要です。

登録

管理システム項番	HW機器種別	ホスト名*	IPアドレス*	EtherWakeOnLan		ログインユーザID	ログインパスワード	
				MACアドレス	ネットワークデバイス名		管理	ログインパスワード
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

< ※\*は必須項目です。

戻る 登録

項目	入力内容
HW機器種別	SV
ホスト名	(任意の値をご設定下さい)
IPアドレス	対象機器のIPアドレス
ログインユーザID	(任意の値をご設定下さい)
管理	●
ログインパスワード	(任意の値をご設定下さい)
認証方式	ssh

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (2/9)

### オペレーションを新規登録する

メニュー：基本コンソール > 投入オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。  
※実習①で登録を行った場合、本作業は不要です。

登録

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考
自動入力	自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※\*は必須項目です。

戻る

登録

2

オペレーション名

実施予定日時

OP1

(任意でご入力下さい)

データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (3/9)

### Movementを作成する

メニュー : Ansible-Legacy > Movement一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

MovementID	Movement名*	遅延タイマー	Ansible利用情報	WinRM接続	ヘッダーセクション
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	ホスト指定形式*	<input type="text"/>	

<

※\*は必須項目です。

戻る

登録

2

Movement名	ホスト指定形式
MV1	IP

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート



## 3.2 データ登録 (4/9)

### playbookを登録する

メニュー：Ansible-Legacy > プレイブック素材集

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② [参照] からプレイブックを選択し、「事前アップロード」を行う。
- ③ 各項目へ下表のように入力し、「登録」を押下する。

登録

素材ID	プレイブック素材名*	プレイブック素材*	備考
自動入力	<input type="text"/>	<input type="button" value="参照..."/>	
		<input type="button" value="事前アップロード"/>	
		アップロード状況:	

※\*は必須項目です。

3

プレイブック素材名	プレイブック素材
copy_file	copy_file.yml

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (5/9)

### 素材ファイルを登録する

素材ファイルを登録しましょう。内容は問いません。

メニュー：Ansible共通 > ファイル管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② [参照] から素材ファイルを選択し、「事前アップロード」を行う。
- ③ 各項目へ下表のように入力し、「登録」を押下する。

登録

素材ID	ファイル埋込変数名	ファイル素材	備考	最終更新日時	最終更新者
自動入力	<input type="text"/>	<div>参照...</div> <div>事前アップロード</div> <div>アップロード状況:</div>		自動入力	自動入力

※\*は必須項目です。

ファイル埋込変数名	ファイル素材
CPF_test_text	test_text.txt

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (6/9)

### Movementにplaybookを登録する

メニュー: Ansible-Legacy > Movement詳細

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

紐付項番	Movement*	プレイブック素材*	インクルード順序*	備考
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※\*は必須項目です。

戻る 登録

2

Movement	プレイブック素材	インクルード順序
MV1	copy_file	1

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (7/9)

### 作業対象ホストを登録する

メニュー: Ansible-Legacy > 作業対象ホスト

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

項番	オペレーション*	Movement*	ホスト*
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2

オペレーション	Movement	ホスト
OP1	MV1	(任意のホスト)

データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

## 3.2 データ登録 (8/9)

### 代入値管理を行う

メニュー: Ansible-Legacy > 代入値管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

項番	オペレーション	Movement	ホスト	変数名	具体値
自動入力	<input type="text"/>	オペレーションを選択して下さい	オペレーションを選択して下さい	Movementを選択して下さい	

2

オペレーション	Movement	ホスト	変数名	具体値
OP1	MV1	任意	VAR_directory	/tmp/work1

#### データ登録

機器情報

オペレーション

Movement

Playbook

素材ファイル

Movement詳細

作業対象ホスト

代入値管理

Symphony

エクスポート

インポート

#### Tips

今回は「作業対象ホスト」と「代入値管理」を直接変更しましたが、**代入値自動登録設定により生成されたレコード**も移行の対象となります。

## 3.2 データ登録 (9/9)

### Symphonyの登録

メニュー: Symphony > Symphonyクラス編集

The screenshot shows the 'Symphony編集' (Symphony Edit) screen. At the top, there's a header 'Symphony編集'. Below it, a table lists 'SymphonyクラスID' (Symphony Class ID) as '自動探番' (Automatic Numbering) and 'Symphony名称' (Symphony Name) as 'Sp1'. A red box highlights the 'Symphony名称' field. A callout '1' points to this field with the text 'Symphony名称を入力します。' (Enter the Symphony name).

Below the table, there's a section titled 'start' with a dropdown menu. A red box highlights the 'MV1' option in the dropdown. A callout '2' points to this option with the text '「MV1」をドラッグ&ドロップで追加する。' (Add 'MV1' by drag&drop).

At the bottom, there's a red box around the '登録' (Register) button. A callout '3' points to this button with the text '[登録]を押下する。' (Press the [Register] button).

The sidebar menu is titled 'データ登録' (Data Registration). It contains the following items: 機器情報 (Machine Information), オペレーション (Operation), Movement, Playbook, 素材ファイル (Material File), Movement詳細 (Movement Details), 作業対象ホスト (Work Target Host), 代入値管理 (Substitution Value Management), and Symphony. Below these items are two buttons: 'エクスポート' (Export) and 'インポート' (Import).

## 3.3 エクスポート(1/2)

### ■ エクスポートを実行する

登録した情報を選択し、エクスポートを実行しましょう。

メニュー: エクスポート/インポート >  
Symphony/オペレーションエクスポート

データ登録

エクスポート

エクスポートの実行

kymファイルの  
ダウンロード

インポート

The screenshot shows the 'Symphony[一覧]' (Symphony List) page. A red box highlights the first row of the table, which contains the data for the selected Symphony. A callout bubble with the number '1' points to this row, with the text '今回作成したSymphonyとオペレーションを選択する。' (Select the Symphony and operation created this time).

Below the table, there is a section for 'オペレーション[フィルタ]' (Operation Filter). A red box highlights the 'オペレーションID' (Operation ID) column, and a callout bubble with the number '2' points to it, with the text '[エクスポート]を押下する。' (Click the [Export] button).

The 'オペレーション[一覧]' (Operation List) table shows the following data:

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="checkbox"/>	1	1 OP1		2020/10/30 12:00			2020/10/28 14:38:17	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

The 'エクスポート' (Export) button is located at the bottom left of the page.

## 3.3 エクスポート(2/2)

### kym2ファイルをダウンロードする

実行したエクスポートのデータをダウンロードしましょう。

メニュー: エクスポート/インポート >

Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管理

- ① [一覧]を押下する
- ② エクスポート状況の一覧から、kym2ファイルをダウンロードする。



一覧 <span>△閉じる</span>						
実行No.	ステータス	処理種別	ファイル名	備考	最終更新日時	最終更新者
1	完了	エクスポート	<a href="#">ita_exportdata_20201028152128.kym2</a>	SymphonyID:1 OperationID:1	2020/10/28 15:21:28	データポータビリティプロジェクト

フィルタ結果件数: 1



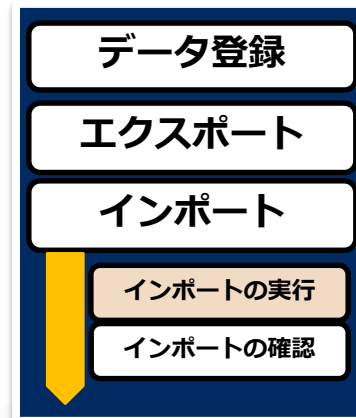
## 3.4 インポート(1/3)

### ■ インポートを実行する

ここからは移行先サーバでの操作となります。

kym2ファイルをアップロードし、インポートを実行しましょう。

メニュー: エクスポート/インポート >  
Symphony/オペレーション インポート



The screenshot shows the 'アップロード' (Upload) and 'インポート' (Import) interface. The 'アップロード' section has a file selection box with 'ita\_exportd...2128.kym2' and an 'アップロード' button. The 'インポート' section has checkboxes for 'すべてのオペレーション' (checked), '1:OP1' (checked), 'すべてのSymphony' (checked), and '1:SP1' (checked), and an 'インポート' button. Three numbered callouts are present: 1. 'kym2ファイルをアップロードする。' (Upload kym2 file.) pointing to the upload button. 2. '作成したオペレーションと Symphonyを選択する。' (Select created operations and Symphony.) pointing to the checkboxes. 3. '[インポート]を押下する。' (Press [Import].) pointing to the import button.

アップロード △閉じる

ファイルを選択 ita\_exportd...2128.kym2

アップロード

1 kym2ファイルをアップロードする。

インポート △閉じる

☒ すべてのオペレーション

☒ 1:OP1

☒ すべてのSymphony

☒ 1:SP1

インポート

2 作成したオペレーションと Symphonyを選択する。

3 [インポート]を押下する。

## 3.4 インポート(2/3)

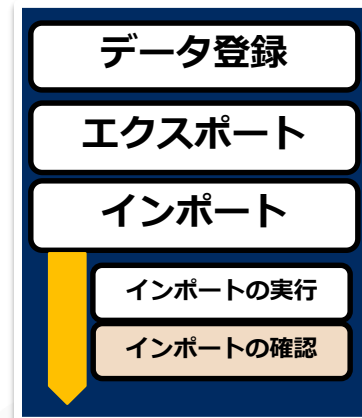
### ■ インポートのステータスを確認する

実行したインポートの情報を確認し、  
ステータスが「完了」となっていることを確かめましょう。

メニュー: **エクスポート/インポート** >

**Symphony/オペレーション エクスポート/インポート管理**

- ① [一覧]を押下する。
- ② 実行したインポートのステータスが「完了」であることを確認する。



一覧						
実行No.	ステータス	処理種別	ファイル名	備考	最終更新日時	最終更新者
	完了	インポート	<a href="#">ita_exportdata_20201028152128.kym2</a>	SymphonyID:1 OperationID:1	2020/10/29 04:45:58	データポータビリティプロシージャ

フィルタ結果件数: 1

## 3.4 インポート(3/3)

### ■ インポート結果を確認する

今回登録を行ったメニューに移動し、移行されたデータを確認しましょう。

#### Symphonyクラス一覧

廃止	SymphonyクラスID	詳細表示	Symphony名称	説明	備考	最終更新日時	最終更新者
廃止	1	詳細	SP1			2020/10/28 15:20:46	システム管理者

#### Movement一覧

更新	廃止	MovementID	Movement名	オーケストレータ	遅延タイマー	Ansible利用 ホスト指定形式	WinRM接続 ヘッダー	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	1	MV1	Ansible Legacy		IP		2020/10/28 15:14:39	システム管理者

#### ファイル管理

更新	廃止	素材ID	ファイル埋込変数名	ファイル素材	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	1	CPF_test	<a href="#">test_file.txt</a>		2020/10/28 15:16:36	システム管理者

#### 投入オペレーション一覧

更新	廃止	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	1	1 OP1		2020/10/30 12:00			2020/10/28 14:38:17	システム管理者

#### 作業対象ホスト

更新	廃止	項番	オペレーション	Movement	ホスト	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	1	1:OP1	1:MV1	1:test		2020/10/28 15:15:41	システム管理者

データ登録

エクスポート

インポート

インポートの実行

インポートの確認

#### その他、移行が行われたメニュー

- ・ 機器一覧
- ・ プレイブック素材集
- ・ Movement詳細
- ・ 代入値管理

#### Tips

各レコードの**変更履歴**も合わせて移行されています。



**Exastro**